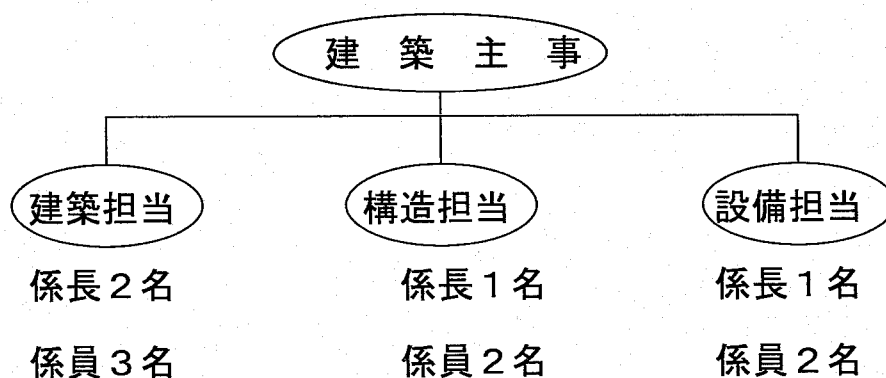


平成 17 年 12 月 26 日

台 東 区

1 確認業務の組織体制

(計 12 名)

2 構造計算に通曉する職員の状況

構造審査の経験者は建築課内に 6 名。庁内には他 9 名。計 15 名。

3 確認申請件数の推移（過去 5 年度）

年度	12	13	14	15	16
台東区	551 件 97%	545 件 91%	367 件 73%	307 件 50%	230 件 37%
指定機関	19 件 3%	52 件 9%	139 件 27%	316 件 50%	384 件 63%
合計	570 件	597 件	506 件	623 件	614 件

4 構造担当者の平成 16 年度月別審査件数リスト

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
件数	14	19	11	17	6	20	11	16	16	10	9	17
累計	14	33	44	61	67	87	98	114	130	140	149	166

5 今回偽装案件の概要

物件名 (仮称) エクセリア浅草田原町
構造・階数 RC 12階 地階なし
延床面積 1,720.24平方メートル
用途 共同住宅、店舗
住宅戸数 53戸
建築主 株式会社シンアイ
設計者 株式会社井上建築企画研究所
現況 未着工・更地

6 偽装を認識するまでの経緯

平成 17 年 11 月 17 日(木)

国土交通省が発表した姉齒建築設計事務所による構造計算書の偽装問題を受けて、区が確認処分した建築確認について同事務所の関与の有無を調査したところ、構造計算書に姉齒元建築士の名前を発見。構造計算書を詳細にチェックし、断面算定の数値を 6 割程度とする偽装を認識。

7 偽装を認識した後の対応

平成 17 年 11 月 18 日（金）

元請設計者に電話連絡及び文書を送付し、本件の説明を求める。

平成 17 年 11 月 22 日（火）

建築主・元請設計者が来庁し、協議。

平成 17 年 11 月 24 日（木）確認取消し処分

8 構造計算書偽装の手口

（P5 参照）

9 構造審査における確認内容について

1) 意匠図と構造図の相違

基準法、安全条例及び指針等の適合

2) 構造計画の適正

構造種別、材料、工法、モデル化の確認

3) 構造計算の適正

（構造計画の反映、構造計算プログラム使用の適正）

* 建物の形状及び部材の入力（構造図等との照合による）

- ① 荷重計算（自動計算）
- ② 応力計算（自動計算）
 - ・ 応力の設定
 - ・ 計算方法（ルート）の判別
- ③ 部材算定（自動計算）

4) 結果の検証（構造図等との照合による）

- ① 全体計算の結果
- ② 部材断面算定の結果

5) その他

- ・ 二次部材（床・小梁）の確認

10 構造審査に使用しているマニュアル

1) 建築物の構造関係技術基準解説書

（編集：国土交通省住宅局建築指導課他）

2) 建築構造設計指針

（監修：東京都建築構造行政連絡会）

3) 鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説

（鉄骨その他構造も含む）（日本建築学会）

4) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計

（財団法人 日本住宅木材技術センター）

5) その他（学会及び日本建築センター発行による指針等）

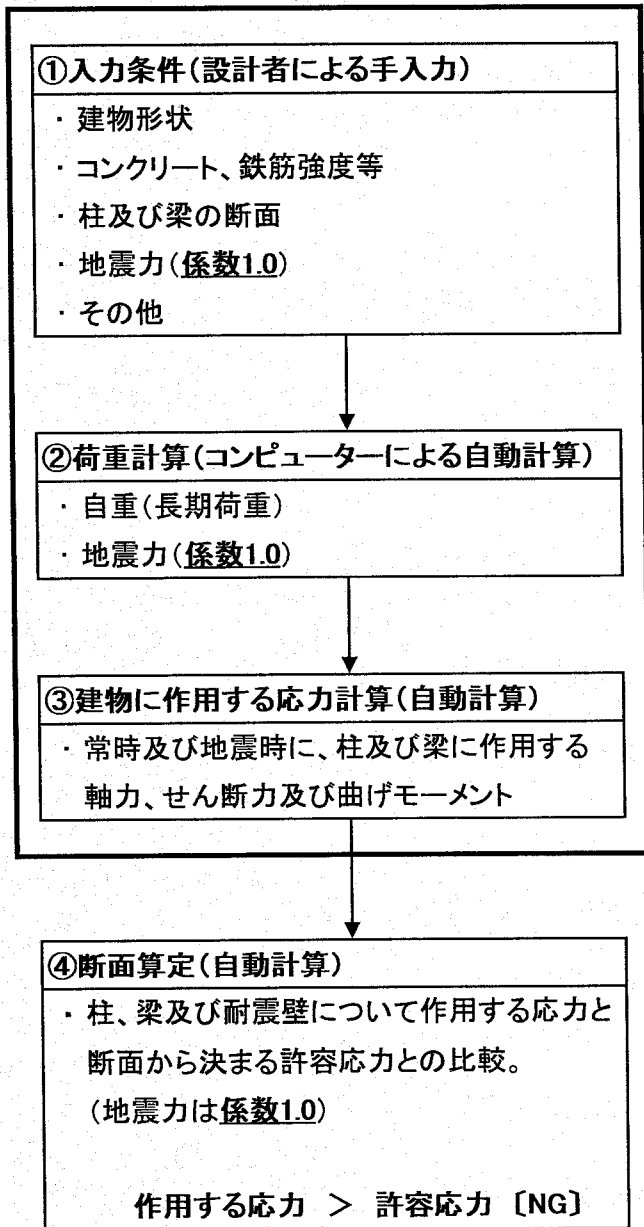
11 再発防止対策等

- 1) 建築確認制度の見直しを踏まえた対応。
- 2) 審査方法の厳正化とチェックリストの充実。
- 3) 構造審査体制の強化。
- 4) 構造専門機関との連携強化による専門技術及び実務能力向上。

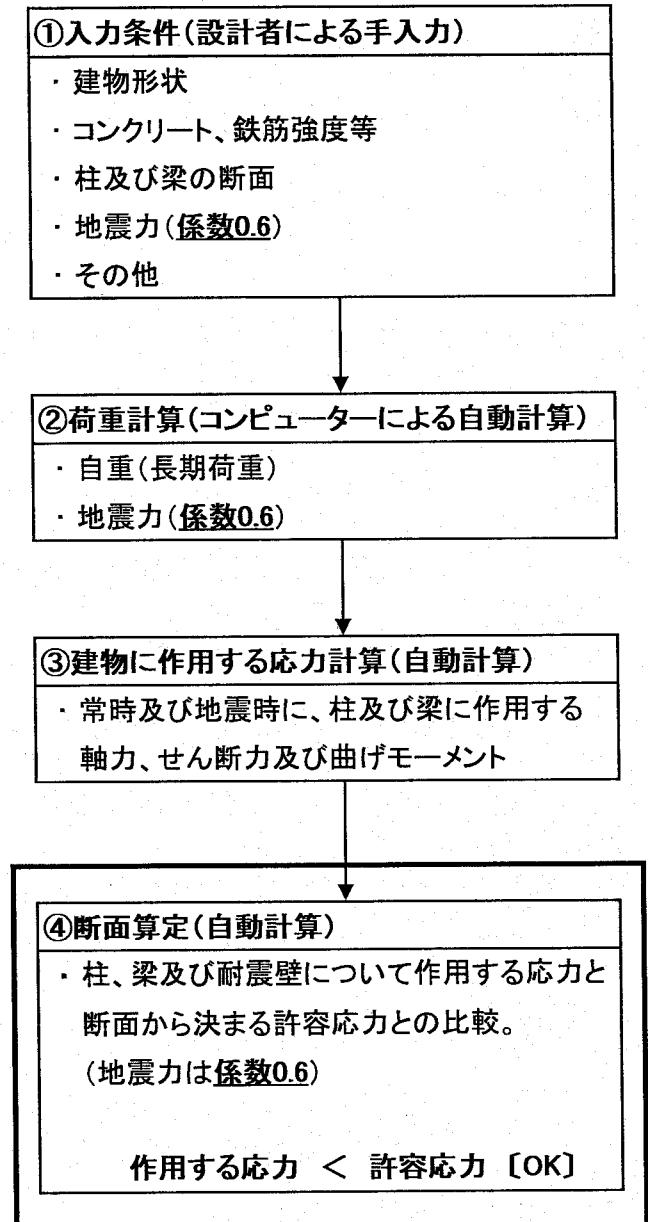
* 区民構造相談窓口の開設

構造計算書偽装の手口(地震時応力の低減)

1. 正規の地震力(係数1.0)による構造計算書



2. 低減した地震力(係数0.6)による構造計算書



【偽装の手口】

1. の正規の地震力の①、②及び③と、2. の低減した地震力の④とを合体させた構造計算書を提出。